

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第16週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

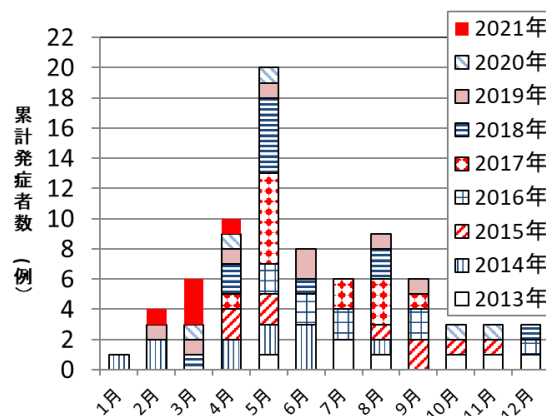
(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計79例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	29	18	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が92例あり、2021年の累積報告数は1266例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

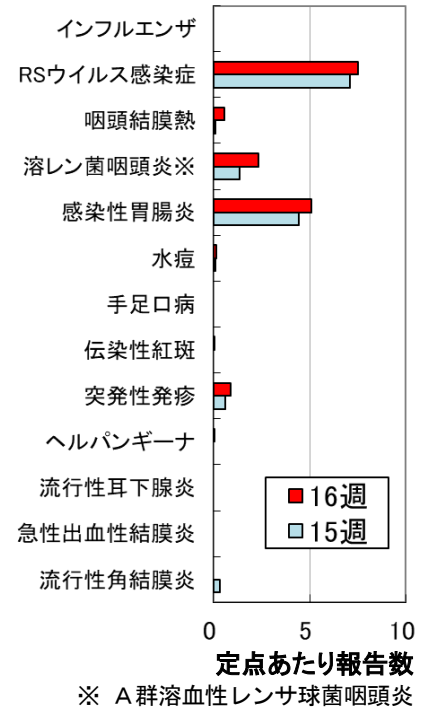
- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核3例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱2例。
- 5類感染症：後天性免疫不全症候群2例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	肺結核	発熱
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	頸部リンパ節結核	頸部リンパ節腫脹
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	70歳代	女	—	腹痛、血便、発熱、O157(VT2)
		小林	10歳代	女	—	軟便、O8(VT2)
		高鍋	70歳代	女	—	腹痛、血便、嘔吐、発熱、O血清群不明(VT2)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、神経症状、血小板減少、白血球減少
		宮崎市	70歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
		日南	70歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	女	無症候性キャリア	—
			30歳代	男	HIV感染症	倦怠感、食欲・集中力の低下

新型コロナウイルス等感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群									症状	
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代		90歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	28例	1	3	14	2	5	2		1		発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害等	
	都城	21例		3	2	3	4	4	2	1	1		
	延岡	2例					1	1					
	日南	2例			1	1							
	高鍋	2例		1			1						
	日向	35例	1	1	1	2		3	4		10		13
	中央	1例				1							
県外	1例				1								

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は599人(定点当たり16.6)で、前週比118%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

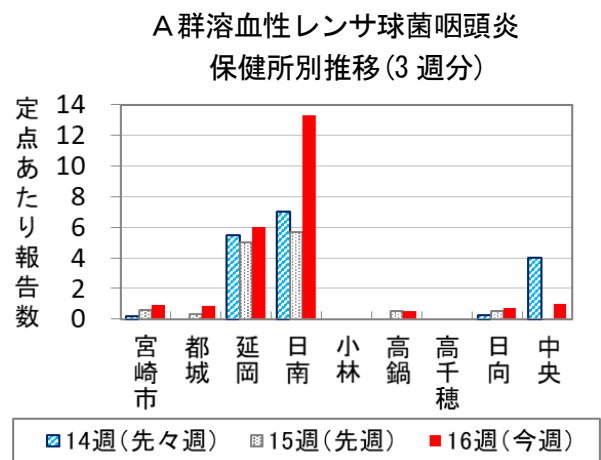
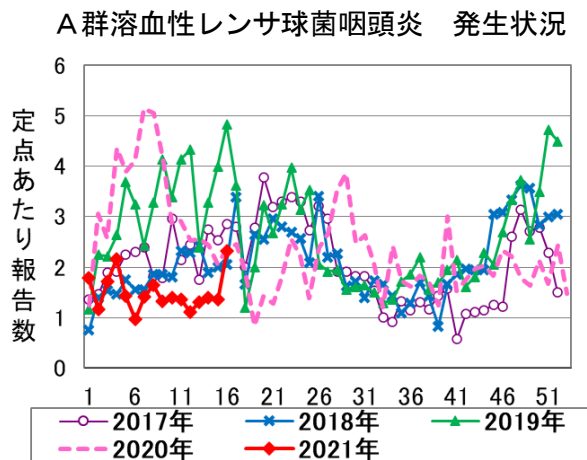
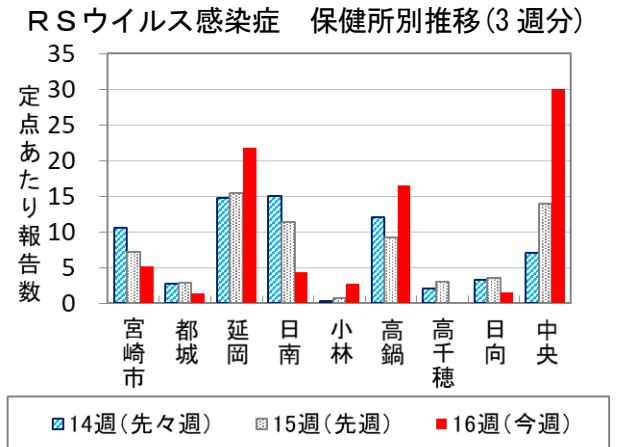
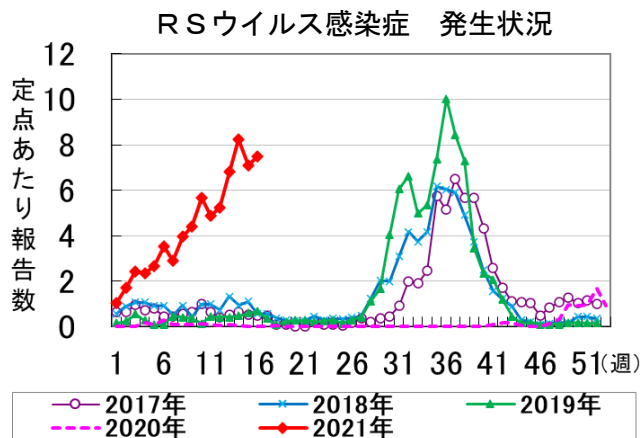
【RSウイルス感染症】

報告数は270人(7.5)で、前週比106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.46)の約16.3倍であった。中央(30.0)、延岡(21.8)、高鍋(16.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月～3歳が全体の約8割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は84人(2.3)で、前週比171%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約0.8倍であった。日南(13.3)、延岡(6.0)、中央(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年4月26日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
Salmonella Saintpaul (O4:e.h:1,2)	0～4歳	女	2021.3.24	発熱、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.4.1
EPEC(OUT:H21)	5～9歳	男	2021.3.25	発熱(38.9℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2021.4.6
Salmonella Enteritidis (O9:g.m:-)	10歳代	男	2021.4.3	発熱(39.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.4.8
EPEC(OUT:HNM)	30歳代	男	2021.4.7	発熱(39.4℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.4.12

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
RSウイルス	5～9歳	男	2021.3.4	RSウイルス細気管支炎、38.9℃、下気道炎	鼻汁	2021.4.19

🇯🇵 全国 2021 年第 15 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 15 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	215 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19 例				
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	1 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	5 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	17 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例
	水痘（入院例）	6 例	梅毒	82 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	7 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 123%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱及び水痘であった。

RSウイルス感染症の報告数は3,528人(1.1)で前週比138%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.28)の約4.0倍であった。佐賀県(7.5)、宮崎県(7.1)、福岡県(5.8)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は10,180人(3.2)で前週比126%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.1)の約0.6倍であった。愛媛県(12.0)、福井県(8.7)、広島県(7.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名	第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	255	270	52	8	87	13	8	66	6	30
	定点当り	7.08	7.50	5.20	1.33	21.75	4.33	2.67	16.50	0.00	1.50
咽頭結膜熱	報告数	4	20	13	3		2		1		1
	定点当り	0.11	0.56	1.30	0.50	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	49	84	9	5	24	40		2	3	1
	定点当り	1.36	2.33	0.90	0.83	6.00	13.33	0.00	0.50	0.00	0.75
感染性胃腸炎	報告数	160	184	45	45	2	10	28	11	4	25
	定点当り	4.44	5.11	4.50	7.50	0.50	3.33	9.33	2.75	4.00	6.25
水痘	報告数	4	6		4	2					
	定点当り	0.11	0.17	0.00	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	32	13	4	4	3		5	2	1
	定点当り	0.61	0.89	1.30	0.67	1.00	1.00	0.00	1.25	0.00	0.50
ヘルパンギーナ	報告数		2	2							
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	2									
	定点当り	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～16週)

2類感染症	結核	40例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例(3)		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	5例(1)
	日本紅斑熱	3例(2)	レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	2例(2)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	31例
	破傷風	1例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	1266例(92)		

()内は今週届出分、再掲